

脱炭素化社会実現に向けた水素・アンモニア研究

ゼロエミに向けて アンモニアの 利用技術を 検討しています

【アンモニア活用領域イメージ】



背景・目的

- 「脱炭素社会の実現」には、現在のエネルギー需給構造の大幅な変革が必要となり、燃焼してもCO₂を排出しないアンモニアは、「脱炭素社会の実現」に貢献するエネルギーとして期待されています。
- アンモニアの産業分野向け利用技術としては、各企業により工業炉向けアンモニアバーナの開発が進められていますが、熱需要としてはアンモニア燃焼設備の開発も今後求められると考えています。
- 当社はお客さまとともに脱炭素社会を実現していくために、「アンモニア利用技術」の研究開発を通じてお客さまの課題解決にお応えしていきます。

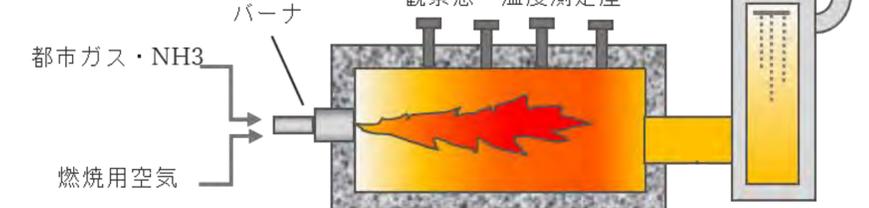
【アンモニア関係研究ロードマップ】

	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	~
ロードマップ	小型燃焼装置による研究		小型燃焼装置による研究							
	アンモニア混焼設備開発に向けた基礎研究		アンモニア混焼設備の開発			アンモニア専焼に向けた基礎研究		アンモニア専焼設備の開発		

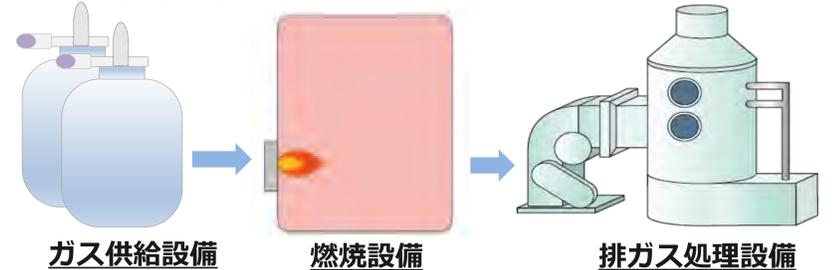
研究

- 小型燃焼装置による研究
 - 自社試験装置による燃焼特性の研究
 - アンモニア燃焼時の排ガス処理技術の研究
- アンモニア混焼設備の研究
 - 都市ガスとアンモニアの混焼設備開発基礎研究
 - アンモニア専焼に向けた基礎研究

【小型燃焼装置イメージ】



【アンモニア混焼設備イメージ】



展開

- 今後の展開
 - 研究結果および研究設備の活用を通じて、アンモニア燃焼でお客さまが抱える問題を解決するためのソリューション提供を目指します
 - (例) アンモニア燃焼設備導入時の問題解決
 - アンモニア燃焼設備導入方法のご提案、アンモニア実証設備のご見学機会の提供
 - アンモニア燃焼設備不具合発生時の問題解決
 - 不具合原因究明、対策のご提案 (燃焼不良、排ガス・排水処理不良等)